

🔪 “自主的” な協力に感謝

ある朝、美化委員の清掃活動をしようと職員玄関を出ると、美化委員ではない人が清掃に加わっていました。ありがたいなあと思った矢先、続々と清掃に加わってくれる 3 年生たち。その姿はとても爽やかで、朝からとても清々しい気持ちにしてくれました。

世界的に見ると、学校で生徒自らが掃除をする国は少なく、清掃員にしてもらう方が多数派です。日本では「掃除は心を整える行為だ」という考え方があり、生徒自身が掃除に取り組む文化が根付いています。あの朝、掃除を終えた彼らの表情からは、雲一つない朝の海のように“整った心”が滲み出ていました。きっと掃除を手伝ってくれたみんな自身も、ちょっとだけ気持ちがスッとしたのではないのでしょうか？他の人も、一緒にどう？

🐦 動かない鳥にかける激しい想い

4 月に校外学習で行った神戸どうぶつ王国で、印象に残っている動物はいますか？私はやっぱりあの園のシンボル、ハシビロコウです。この園では世界でも例が少ない、飼育下での繁殖に挑戦していると説明されていましたね。最近ぼんやりとニュースを眺めていると、なんとあのハシビロコウが新たに 2 羽仲間入りしたという記事を発見しました！記事によると新たな 2 羽の展示は未定とのことですが、4 羽並んでいる姿が見られる頃に、もう一度会いに行ってみたくなりました。

ところで、神戸どうぶつ王国に行ってみて初めて気が付いたのですが、どうやら私は鳥が好きなようです。それも、けっこう好きなのです。あの時買ったハシビロコウのステッカーは、iPad に貼りました。お気に入りです。

🎡 同じ体験、異なる経験

私は学校行事の時のみなさんの“楽しむぞ”という積極的な姿勢に何度も感動しています。私自身の高校時代を振り返ると、「この行事はおもないな。」とか「しんどい行事やからこれは手を抜くか。」とか冷めた感じを出してカッコつけている痛いやつでした。だからか私は、自身の高校生活が心から楽しかったとは思えないのです。大人になるにつれて痛感するのですが、ある物事に対して「これは楽しい、これはつまらない」と口を開けて美味しいエサが来るのを待つような、受け身の姿勢でいることは本当に損ですね。同じ体験を通して、“楽しもう”という心の持ちようで臨む人とそうでない人では、得られる経験値はまるで違います。自ら物事を楽しもうと思って毎日を過ごせたら、人生はもっと豊かになるはずですよ。

M 食育・・・

年齢を重ねるにつれて、魚や野菜のおいしさが身にしみるようになってきました。まだまだ揚げ物も美味しく感じられますが、少しずつ食の好みがあっさりしたものへと変わっていていると実感しています。

そんなことを言いながら、私は時々、夕食にマックを選んでしまう日があります。仕事が立て込んだ週の木曜日あたりは行ってしまいがちです。みなさんも好きですね？今日はもう絶対マックが良いって日、ありませんか？何であんなに心惹かれるんでしょうね。ヘルシーな食生活を心がけたいですが、たまにはジャンキーな食事があってもいい。にんげんだもの。

みなさんは普段マックで何を頼むんでしょう。おすすめメニューがあれば、こっそり教えてください。

日付	二十四節気	日付	七十二候
6/5 ～ 6/20	芒種(ぼうしゅ) 稲や麦など芒(のぎ＝穀類の硬い毛)のある穀物の種をまく時期	6/5 ～10	螳螂生(かまきりしょうず) カマキリが卵から生まれ出る
		6/11 ～15	腐草為螢(くされたるくさほたるとなる) 草の中から光を放った螢が現れ出す
		6/16 ～20	梅子黄(うめのみきばむ) 梅の実が熟して黄ばみ始める

学校生活の一部を紹介



冒頭のトピックで書いた、掃除のシーン
とても爽やかでステキな姿でしょう？



授業中の様子

互いに教え合ったり、堂々と前で発表したりできることは当たり前じゃない。自分たちで素晴らしい環境作りができています。